

2024年度事業の点検・評価

1 概要

「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針（2023-2027）」（2023.3）の五つの「目指すべき姿」と数値目標を踏まえ、毎年度、事業計画と数値目標の達成状況について、当館及び図書館専門委員会により点検と評価を実施する。

2 数値目標の点検・評価

- 「蔵書検索アクセス数」、「利用者の満足度」、「SNSの発信数」、「企画展示・イベントの実施回数」、「市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数」、「デジタルアーカイブ公開数」、「職員研修の受講者数」が数値目標を達成した。
- 「SNSの閲覧数」、「県内図書館等への協力貸出冊数」、「電子書籍へのアクセス件数」は数値目標を下回った。

数値目標	2024年度数値目標	2024年度達成状況	評価	(参考)	
				2023年度数値	評価
①蔵書検索アクセス数	2,100,000回	4,151,578回 (達成率:197.7%)	A	3,064,972回	A
②利用者の満足度	「来館の目的が達成できた」が現状(2021年度85.6%)を上回る	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が86.4% (達成率:100.9%)	A	84.0%	B
③SNSの発信数と閲覧数	発信数:1,000件 閲覧数:900,000件	発信数:1,228件 (達成率122.8%) 閲覧数:678,116件 (達成率:75.3%)	B	発信数:1,169件 閲覧数:727,515件	B
④企画展示・イベントの実施回数	展示:50回 イベント:70回	展示:88回 (達成率:176.0%) イベント:105回 (達成率:150.0%)	A	展示:80回 イベント:96回	A
⑤県内図書館等への協力貸出冊数	16,000冊以上	12,945冊 (達成率:80.9%)	C	14,517冊	B
⑥市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数	28校から34校以上に拡大	34校 (達成率:100.0%)	A	28校	A
⑦電子書籍へのアクセス件数	現状(2022年度上半期:5,541件)を上回る	月平均4,771件 (達成率:86.1%)	C	5,380件	B
⑧デジタルアーカイブ公開数	1,147タイトル以上に拡大	1,150タイトル (達成率:100.3%)	A	1,147タイトル	A
⑨職員研修の受講者数	延べ500人以上	799人 (達成率:159.8%)	A	761人	A



・概ね数値目標を達成したが、一部数値目標を下回ったものがあった。

3 事業計画の点検・評価

- 五つの「目指すべき姿」の評価及び87の事業項目（「別表」参照）のうち、新規事業などの主な取組状況は下記のとおりである。

【1】「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組（32事業）

評価 B	概ね順調に取組を進めることができた。読書バリアフリー推進チームを立ち上げ、館内外における展示や館内ツアーを行い多くの方にサービスを周知できた一方で、協力貸出冊数が目標に達しなかったため。
⇒	・読書バリアフリーを知ってもらうため、展示「読書バリアフリー いろんな「読む」のカタチ」を館内及び館外で開催した。 ・ビジネス関係資料の収集、レファレンスへの対応に加え、起業の実現を応援するようなセミナーの開催、STATION Ai・あいち創業館開館記念展示など、ビジネスに関する事業を行った。

【2】「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組（13事業）

評価 B	概ね順調に取組を進めることができた。「あいち県民の日」関連展示・イベントの実施等、情報発信の拠点としての事業を実施できた一方で、SNSの閲覧数が目標に達しなかったため。
⇒	・「インド大使館図書贈呈式と記念イベント（ヨガセッション）」、「金城学院高等学校ハンドベルクワイアによるクリスマスコンサート in 愛知県図書館」など様々な展示・イベントを行った。 ・学校等への館内スペースの提供について、試行を踏まえて本格実施した。

【3】「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組（22事業）

評価 B	概ね順調に取組を進めることができた。学校貸出用セットの用意や、県図書館を取り巻く団体との連携等、ネットワークのハブとしての事業を実施した一方、協力貸出冊数が目標に達しなかったため。
⇒	・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を本格実施した。 ・東海北陸地区公共図書館研究集会を集合形式で開催。録画配信も行った。

【4】「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組（8事業）

評価 B	概ね順調に取組を進めることができた。新しいデジタルアーカイブの公開、電算システム更新に伴うWebサイトのリニューアルや蔵書探索AIの導入等、非来館型サービスの充実を進めることができたが、電子書籍へのアクセス件数が目標に達しなかったため。
⇒	・2025年3月に図書館電算システムを更新した。 ・図書館電算システムの更新に合わせ、Webサイトをリニューアル。機能の追加やスマートフォンやタブレット端末への対応、読み上げ機能対応などを行い、Webサイトの利便性を向上させた。 ・Webサイトで公開していた「貴重和本」、「絵はがき」、「画像」のコレクションを統合、デジタル行政資料を追加し、「愛知県図書館デジタルアーカイブ」として一括で検索、閲覧できるようにした。

【5】「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組（12事業）

評価 A	順調に取組を進めることができた。持続可能なサービス環境を整えるため、職員の育成、長寿命化改修工事の調整などを行った。
⇒	・2027年度から実施予定の長寿命化改修工事について、関係各課と連携、調整し、基本設計に係る予算措置を行った。 ・国立国会図書館から講師を招き研修を行うなど、職員の専門性をより高める取組みを行った。 ・市町村立図書館等への講師派遣や日本図書館協会発行誌での発表などを行った。



・事業計画は概ね順調に進捗したと評価できる。